

令和 4 年度 事業報告

1	相談支援事業所はしわたし		1 - 1	～	1 - 2
2	地域活動支援センタージャンプ		2 - 1	～	2 - 2
3	すまいるB		3 - 1	～	3 - 6
4	てつなぎ工房		4 - 1	～	4 - 8
5	グループホーム		5 - 1	～	5 - 2
6	ぬくもり弁当		6 - 1	～	6 - 5

社会福祉法人てつなぎ

相談支援事業所「はしわたし」令和4年度事業報告

はじめに

計画相談については、令和5年3月現在43名の利用者が登録をしている。また、児童の利用者は、29名計画相談しており、合計72名の計画相談対象者となっており昨年と比較し大きな変動はない。地域の障害を持つ方と繋がり、手帳の取得や難病医療費の申請、障害年金の申請など今迄制度に繋がっていなかった方の支援を行っている。計画相談としては大きな目で見ると児童数は減少しているが発達障害でサポートを必要とする児童は増加しており、児童計画相談の対象児童が増加している。新たに放課後等デイサービスを作りたいという児童の母親の会に側面的に支援している。現在第一相談員として吹田相談支援専門員が1名で担当しており、令和5年度中に新たに3名相談支援専門員の初任者研修を受講して下さる予定となっている。

主な活動

①一般相談

- * 弟子屈町からの委託事業で保健師や事業所等関係者と連携を図り利用者の相談支援に努めた。
- * 役場からの依頼で困難事例の利用者・家族等からの相談に応じ必要な社会資源に繋げている。

②計画相談

- * サービス利用計画の作成・モニタリングを実施した。
- * サービス担当者会議を開いて関係者の意見を聞いたり調整を行った。
- * 関係機関等への連絡調整を図った。

③自立支援協議会の事務

- * 保健師と相談支援事業所を構成メンバーとする相談支援部会で活動し情報共有している。

④地域資源の改善・開発

- * 介護サービスとの連携を図った。地域ケア会議にも参加し意見交換している。
- * 福祉サービスにつながるまでの間、地活を利用するなど社会資源を活用した。

令和3年度特定計画相談支援モニタリング履歴

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
計画作成	4	4	10	1	1	2	0	3	2	2	1	29	59
継続	16	20	35	14	18	35	15	18	43	18	1	29	262
計	20	24	45	15	19	37	15	21	45	20	2	58	321

(所感として)

令和4年度の状況としては計画相談は令和3年と比べ計画作成プラス11件、モニタリングはマイナス14件であった。

新規利用者が3名B型事業所に繋がっている。

ご本人の希望が優先のため、他事業所への紹介や一般就労先の開拓なども行っている。

町内で家族と関係性が悪く、救護施設からも出された方の支援を札幌のグループホームを紹介し間接的に支援を継続していた。

町内で家族からの虐待を受けていた障害を持つ可能性のある方に関り、川湯の森病院を受診し知能検査、診断書を作成していただき巡回相談に同行し手帳の作成を行っている。

今後、障害年金の手続きを行っていく。家族からお金を搾取される危険があり、グループホームと相談し自費ショートステイで令和4年12月緊急保護している。

その後短期入所の受給者証も作成している。

また、難病の方と繋がり、難病医療費の申請、手帳の申請、移送サービスの申請など安心して通院できる体制作りを行っている。

新規の利用者を増やし、安定して長く居住でき通所出来、地域での落ち着いた生活が楽しめるよう、利用者が自己実現できる様、てつなぎに来て良かったと思えるよう各事業所と協力して対応して行きたい。

令和4年度「ジャンプ」事業報告

管理者 奥村真由美
(生活支援員) 鍵野目未香子

振り返り… 地域活動支援センターに通所される皆様が楽しみに通所されている様子は伺えますが、ご家族の事情により通所時間や日数の変更が多くみられました。その都度意向を聞き又、ご家族の要望にも応えながら、利用者さんの思いを考え臨機応変に対応が出来たと感じています。又、作業に関しては利用者さんからの新しい発想と工夫が、より良い作品作りに生かされて、更に自信に繋がる場面が多く見受けられました。新しい作業の提案に利用者さんが次々にチャレンジして、『自分の唯一のもの』にして下さり、笑顔で楽しみながら、会話も大切に一緒に考えて取り組む。利用者さんと支援員とのコミュニケーションがしっかり取れていて、日常の思いを話して頂ける信頼関係が築けています。

1.基本理念

- ① 通所される利用者様の得意を見つけ、更に伸ばして頂く。
自分に自信を持ち、やりがいを感じながら継続していく。
- ② 自分の作品及び作業に対し、想像力と発想力を養い又、他者との協力により完成を目指し、お互いに対する思いやりや感謝する気持ちを大切にする。
- ③ 自分の将来を見据えた努力や相談が出来る場所である。
- ④ やってみたい事・知りたい事が、出来る又は、わかる場所。
- ⑤ 社会との繋がりを実感する。

◎利用者様と職員が意見を交わし、相談し考えて共に成長出来たと感じている。

2.創作・生産活動援助目標

- (1) 作業に楽しく取り組む環境作りを行う。
- (2) 利用者様同士又は、支援員とも協力して創作を進め協調性を養う。
- (3) 情緒の安定、心配事や悩み等の相談に対し速やかに対応し自己決定を促す。
- (4) 利用者様の心情や体調に配慮する。

◎商品作りを行っている方々の作品作りに対する取り組み方が、以前よりも工夫や創造力が加わり嬉しいと感じるほどの成長があった。

◎手を動かし、考える力を養うために通所する方々は、繰り返し作業する事で内容を理解し、次にはその応用で作業に変化をつけ自信に繋げていった。

◎毎日同じ作業を来る返すだけではなく、違う作業を行う事でメリハリと集中力も身に付けてきたように感じる。

3.事業内容

弟子屈町障害者等地域活動支援センター事業委託業務

委託費 3,960,000円/年 (消費税込み)

○創作活動・生産活動の機会の提供

○作品作り、生産作業の中から互いに認め合い、協力し合い商品化して販売し社会との交流を実感する。

○レクリエーション活動

○楽しいと思える居場所作り

○送迎及び買い物支援

○困りごと・悩みごとの聞き取りと自己解決

4. 年間事業実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
精神	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
ひきこもり・不登校	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
発達障害	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
その他	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合 計	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	109
開設日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	16	18	22	239
のべ開設時間	160	152	176	160	176	160	160	160	160	128	144	176	1912
延べ利用人数	70	58	78	70	66	67	79	69	74	53	69	59	812
1日平均利用人数	3.33	3.05	3.54	3.50	3.00	3.35	3.95	3.45	3.70	3.31	3.83	2.68	40.7

5. 個別支援計画

本人の目標と課題・得意なことや、やってみたい事など、面談（会話）の中から見つけ、引き出し方を考え支援した。

モニタリング（評価）

計画通りに進めることが出来たか又、ご本人の変化及び成長に気づき新たな可能性を導き出せたかを確認した。

6. 年間活動報告

- 羊毛フェルトによるシマエナガや小動物をモチーフにした商品作り。
ワイヤーやスポンジを使ったアレンジ商品作り。
納品先は、道の駅・ぴゅあめいど（MOO）・美容室等
◇ 創作活動・生産活動を中心に作品制作から商品化のレベルアップができ、利用者様自らの発想力・創造力・工夫が目覚ましく、より良い商品をと更なる意欲を感じられた。
- センター内や玄関等に飾る季節に応じた飾る作品作り。
◇ ご高齢の方が季節の移り変わりを確認しながら取り組み、会話を楽しみ大声で笑い合える環境作りに努めた。
- 毎回新しいゲームを提案し、各パーツを自分たちで作る事から始めて、苦手と得意を見つけ出し、達成感と楽しさを感じる時間を過ごす。
◇ ひきこもり児童・生徒が外に出て、人と接し会話を楽しむことやゲームに興味を持ち、通所の回数を増やし、教育委員会や中学校ともかわりを持つ事が出来た。
- 新たに刈った羊毛を機械を使って整える作業や、草刈りや花壇整備の依頼を受けての作業も加わり、やりがいを感じている。
◇ おひとりお一人の様々な機能の回復や維持のために何が必要かを考え、取り組むことが出来た。

※令和4年4月～令和5年3月までの主な売上

道の駅	¥215,714
ぴゅあめいど	¥61,727
パイングレース	¥92,370
美容室	¥21,000

ハイジばあば	¥7,250
Okku Outdoor他	¥83,668
その他	¥93,667
計	¥575,396

反省点として

- △ 商品作りに追われて、レクリエーション活動や外に出て楽しむ機会も少なかった。
- △ 不登校児の通所の安定を図れなかった。

今後も、しっかり振返りをして、心のこもった、利用者様が有意義に過ごして頂き、充実感・達成感が得られる通所となるように、支援をさせて頂く。

令和4年度 就労継続支援事業所B型 事業報告書

すまいる B

1. 基本理念

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者の方が地域社会から隔離されることのない「完全参加と平等」を目標に掲げ、障がい者ひとりひとりの人生の質（クオリティ・オブ・ライフ）の向上と自己実現を目指し、地域の中で自分らしく幸福感や生きがいをもって自立した生活が送れるよう支援していく。

2. 事業運営方針

就労継続支援 B 型事業所は、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

事業の実施に当たっては、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、その他の保健医療サービス機関、利用者を取り巻く社会資源との連携を図り、総合的な福祉サービスの提供に努める。

3. 支援方針

（1）居場所支援

生活の場以外に地域の中で心のよりどころ・生きがいを持てるような居場所（サービス事業所）としての役割を目指した支援。

（2）生きがいづくり

就労や、その他の活動を通して生きがいを持って自己実現できるような支援を行う。

（3）自己決定・自己選択・自己責任

安易な保護・管理をせず、利用者の方が自分自身の人生の責任主体となり、自己決定・自己選択を行い、自分の人生を形成し、自立した生活が送れるよう支援する。

4. 事業所名および所在地

（1）事業所名：就労継続支援事業所（B型）すまいる B

（2）所在地：〒088-3202 北海道川上郡弟子屈町鈴蘭6丁目1番5号

（3）電話：015-486-7280（f a x 同左）

5. 施設の規模・構造

区分	建物構造等
----	-------

構造	木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
階数	2階
床面積	134.47 m ²
延べ面積	205.24 m ²
建築年月日	1990年12月

6. 職員の配置

職種	勤務形態	常勤換算数
管理者	常勤兼務	0.6
副管理者	常勤兼務	1
サービス管理責任者	常勤専従	1
生活支援員	常勤兼務	1.6
職業支援員	常勤専従	1
調理員	常勤専従	0.1
生活支援等基準上の必要配置数（前年度に利用実績数÷7.5）		1.9
生活支援等基準上の実績数		2
職員合計		3.6

※ 同事業所で兼務の場合は1とする

7. 定員・入退所・前年度の利用実績

- (1) 利用定員 20名
- (2) 利用者数 16名
- (3) 年間月別利用実績

区分	令和4年									令和5年			(単位:人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
定員(人)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	年度計
開所日数	21	20	22	20	21	20	20	20	21	17	19	22	
利用者実人数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	16	16	
延べ人数	249	257	279	263	280	223	277	262	290	210	252	271	
1日平均利用者数	11.9	12.9	12.7	13.2	13.3	11.2	13.9	13.1	13.8	12.4	13.3	12.3	

8. 工賃

時給 100円（一日4.5時間） 月末現金支給

10. 生産活動

(1) 作業支援目標

生産活動の機会の提供にあたっては、利用者の障害特性、利用者の個性、体調、能力、希望に配慮し、精神的、身体的に過重な負担とならないよう作業支援を行う。

就労意欲を引き出し、楽しい雰囲気の中で安定して作業に取り組むことができる様、見守

り、声掛け、助言、相談等支援を実施した。

(2) 生産事業実績

法人内他事業所からの仕事の紹介や、相談事業所を通じて猫のお世話や掃除の仕事の依頼などが入るようになった。

(3) 作業種・内容・売上・原価・従事利用者数

作業種目	作業内容	全体の売り上げの割合	原価率	従事利用者数
便利屋	草刈り、掃除、犬の散歩等	52%	9%	2.5
弟子屈ラーメン	仕入れ、運搬、店頭陳列	43%	72%	1
ペットフード	犬猫のクラッカー製造販売	4%	14%	3
野菜・花	野菜・花の製造販売	1%	16%	2.5
内職	長谷製菓内職	1%	1%	3.5
紙すき	牛乳パックの再生紙作り	1%	1%	3.5

1 1. 健康の維持・増進・感染症予防対策

生産活動・その他の活動におけるけがの予防や、体力づくり、成人病予防等のため、朝の朝礼後や午後の時間に、ラジオ体操・健康体操などの活動を行う。また、年間行事の中で弟子屈町役場健康推進課に協力をいただき、健康推進事業として栄養指導を実施。

昨年に引き続き、新型コロナ感染予防対策として、毎日、施設内設備全体の消毒及び車両の消毒、手指消毒用備品の設置と消毒の声掛け、掲示物、飛沫感染予防用パーテーションの設置、振興局等からの感染状況及び感染予防対策等の通知を利用者・職員に情報共有を行い、感染予防対策を行った。まん延防止発令期間中は感染予防のため、在宅ワーク及び利用時間の短縮、人数制限を行うためグループ分け通所と在宅の組み合わせなど実施。

1 2. レクリエーション活動

就労意欲の向上、体力づくり、他者との親睦の機会を通じ、QOLの向上を図る取り組みとして、様々なレクリエーション活動を通じて心身のリフレッシュ、生きがいを見つけるなど生活の満足感を高めることを目的とした活動を行っている。

<活動内容>

・DVD鑑賞・カラオケ等（週1回）

コミュニケーションが苦手な方でも他者との交流を図ることができ、気晴らしや楽しみを見つける。

・ドライブ（お花見ドライブ1回、中標津買い物ドライブ 1回）

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、例年より回数が減っている。外出時はマスクの着用、手指の消毒等、感染予防対策を行いながら実施している。普段いる空間

から離れ、外出することで景色をみたり、歩いたりしながら季節感を感じたり、地域の方や他者との交流の機会を持つなど心身をリフレッシュする。

- ・休憩

疲労回復や、体調不良時に一時的に休養を取る事で、心身の健康の維持・回復を図り、元気に作業やその他の活動に参加できるよう配慮している。

- ・図書館読書活動（図書館月 1 回）

教養娯楽活動によって楽しみや視野を広げる。

1 3. 各関係機関との連携活動

弟子屈町保健福祉課健康推進係、ボランティア団体、社会福祉協議会との連携活動として、がんばる一人体操、健康指導、その他健康生活にかかわる講習会など実施。

健康推進行事

実施日	7 月 15 日	9 月 16 日	12 月 16 日	3 月 17 日
場所	すまいる B	すまいる B	すまいる B	すまいる B
内容	がんばる一人体操	予防講習会	生活習慣について	脳トレ摩周
協力機関	弟子屈社会福祉協議会 バルーンが摩周 ボランティア	弟子屈町役場保健福祉係	弟子屈町役場保健福祉係	社会福祉協議会
参加人数	17 名	14 名	18 名	16 名

1 4. 季節感を取り入れた行事活動

節分豆まき、焼肉、忘年会、新年会

1 5. 利用者ミーティング

毎週金曜日に利用者ミーティングを行い、料理やおやつのメニュー、ドライブの行先等をみんなで決めたり、すごろくを使ってコミュニケーションが苦手な方でもゲーム感覚で自分のことを話できる機会を作っている。

利用者ミーティングは、お互いの親睦を図り、同じ悩みなどを共有・共感し合い、励まし合ったり、自分の良さや課題への気づきを促し、自分の課題の解決する力を引き出すことなどを目的として行っている。

1 6. 心身の状況等の把握

来所時に、血圧測定や、聞き取り、表情の観察、服薬支援、受診状況など健康状態の把握のほか、利用者の生活環境の把握を行う。

1 7. 個別支援計画等の作成

個別支援計画のモニタリング・評価・アセスメントを半年毎（4月・10月ごろ）、または状況の変化に応じて、利用者との面接、個別支援計画検討会議、関係機関との連携を行い、個別支援計画の作成・個別支援内容の説明・文書の交付を行う。

1 8. 非常災害対策等の実施

（1） 地震災害想定消防避難訓練の実施（2回）

8月18日（16名参加）、11月18日（18名参加）

（2） 消防立入検査・結果報告

1月11日消防署による消防用設備点検実施。問題なし。

（3） 法定設備点検

8月31日 消防用設備点検実施。異常なし。

④ 防災計画の策定

地震・火災・風水害等の自然災害に対する防災対策及び災害時において必要な基本事項を定めた防災計画の策定、及び防災研修を実施。

1 9. 令和2年度すまいるB年間職員研修計画・実施報告書

■年間研修計画

- ① 虐待防止研修
- ② 防災教育研修
- ③ 障害特性について
- ④ SST研修
- ⑤ 防犯研修会
- ⑤ その他必要に応じて実施する

■研修実績

2 0. 各種会議

会議名	会議日時	内容
業務ミーティング	随時	職員の休憩時間の取り方等
作業ミーティング	随時	農産物の種類、苗について、手芸品の内容について等
職員メンタルヘルスマーケティング	必要に応じて	ストレスに感じる事やストレスへの考え方、解消法について

21. 日課

10：00～10：30	来所、健康状態の確認、朝礼
10：30～10：35	ラジオ体操
10：35～11：00	作業・各自の体調に合わせて休憩・水分補給。火曜日は料理
11：00～11：15	休憩・水分補給
11：15～11：45	作業・各自の体調に合わせて休憩・水分補給。火曜日は料理
11：45～12：00	片づけ・掃除・昼食買い出し
12：00～13：00	昼食・服薬・休憩
13：00～13：30	健康体操
13：30～14：00	作業
14：00～15：00	作業又はペン字
15：00～15：15	掃除・ハンコ押し・休憩
15：20～	送迎

22. 今年度の総評

職員の労働環境の改善として、きちんとメリハリをもって休憩できる環境を整えるよう見直しを行った。また、職員のメンタルヘルス対策については前年に比べ、便利屋などの業務や新型コロナ感染拡大に伴う在宅ワークなどで個別支援会議などの業務が増えた事などで、機会を作ることが減少している。職員自身の健康管理やメンタルヘルスだけでなく、家族の看病や介護なども増えてきており、やりがいを持って働き、家庭での役割や個人の自己啓発や余暇活動なども充実し、豊かな生活が送れるような取り組み（ワークライフバランス）が必要である。

以上、前任施設長の取り組みや考えを次年度も引き続き行う。

以上

令和4年度 てつなぎ工房 事業報告

利用者 … 18名 職員8名

4年度を振り返って

新しく利用者さん1名と職員1名が入り、今までより作業効率が良くなりました。

計画していた目標金額も各部署でほぼ達成し、大きな問題なく出来ました。

今年度も新型コロナウイルスの影響を受け、当事業所の利用者さん2名が感染しましたが、幸い休日に感染したため、他の利用者さんが濃厚接触者に該当しませんでした。町内でも感染者が多くなったため、利用者さんに在宅ワークを1週間程度行ってもらい、その間の作業を職員のみで行っています。

便利屋の利用者さん3名が、刈払機取扱作業安全衛生教育を受け、全員合格しました。今まで以上に安全な草刈り作業が出来ています。

令和4年度 てつなぎ工房 便利屋 事業報告

利用者 … 8名 担当職員 2名

4年度を振り返って

コロナウイルスの影響で仕事が減ると思われたが、逆に仕事の依頼が増えました。利用者さんが在宅ワーク中は職員が作業を行っています。大口の依頼が多く、予定を組みなおしても待つお客様も数件ありました。短時間で作業を終わらせないといけないので、利用者さん達も頑張っていました。このまま利用者さんのスキルアップに繋がっていきたいと思います。

職員・利用者様の衛生面管理

コロナ禍の相乗効果として「手洗い」「消毒」「換気」を小まめに行う事で利用者さんの「健康管理」がされることとなりました。また、日々の「検温」がきちんとしたバロメーターにもなり、それと共に利用者様が無理をしなくなり、結果的に長期休みをとる利用者様が少なかったです。

利用者同士のコミュニケーションがうまくとれている事。

「適材適所」を目指した取り組みを行う事で利用者同士の理解が深まりトラブルが減り、コミュニケーション向上に繋がっています。

令和4年度の売り上げ目標は達成し、順調に売り上げが伸びてきている。今年も仕事の依頼が増えると思われるので、利用者さんの仕事量も増えるので、休憩を取りながら作業を進めていく。

令和4年度 売り上げ

固定作業分	1,459,068円	*内 古紙販売分 409,684円
一般作業分	2,088,170円	*内 草刈り作業分 287,550円
ゴミ処理料(立替分)	627,590円	
合計	4,174,828円	

令和4年度 てつなぎ工房 椎茸課 事業報告

利用者 … 7名 担当職員2名 補助1名

* 4年度を振り返って

新職員さんが入り、作業内容も効率の良い方向に進んでいる。利用者さんとの関係も良く、お互いに助け合いながら一生懸命行っている。

椎茸 令和4年度 月別売上表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
フクハラ	728,074	480,516	615,160	422,866	365,356	346,240	450,892	496,036	661,816	558,946	696,646	653,932	¥6,476,480
摩周湖 Aコープ	35,925	42,375	38,425	38,075	48,550	45,700	46,875	39,200	70,750	50,100	41,225	38,725	¥535,925
川湯の森 病院	15,886	15,527	17,117	11,377	16,605	11,282	15,280	16,917	15,991	17,630	15,785	24,497	¥193,894
しらかば	5,761	7,042	6,317	6,545	4,710	5,661	5,377	6,871	6,216	7,458	6,972	7,189	¥76,119
ピック リッキー	24,000	37,200	26,900	25,600	12,850	33,150	47,900	26,400	33,060	24,200	33,100	25,800	¥350,160
道の駅	22,956	44,702	37,864	40,109	35,885	32,240	40,948	27,002	17,606	22,526	18,325	26,919	¥367,082
振興公社	0	4,200	0	0	1,400	4,200	2,800	1,400	4,200	4,200	0	0	¥22,400
びゅあ めいど	2,943	3,303	5,121	369	3,861	5,121	3,114	2,870	1,836	2,565	549	4,572	¥36,224
その他	12,050	24,440	25,755	18,060	38,050	24,900	31,900	44,350	31,700	20,620	23,150	28,830	¥323,805
合計	¥847,595	¥659,305	¥772,659	¥563,001	¥527,267	¥508,494	¥645,086	¥661,046	¥843,175	¥708,245	¥835,752	¥810,464	¥8,382,089

* 目標と課題

気温の関係で夏場の収穫量が下がるので、菌床購入を調整しながら上手くやっていく。

年々劣化しているハウスを補修しながら使用しているが、ハウス内側に使用しているラミクロスの寿命がきており、張り替えが必要になっている。

令和4年度 てつなぎ工房 内職課 事業報告

販売実績（道の駅）

	(大)みそ	(小)みそ	しょうゆ (大)	しょうゆ (小)	ほたて 佃煮	数の子 佃煮	たらこ 佃煮	佃煮甘口	佃煮椎茸	佃煮しそ
4月	19	24	2	9	25	28	26	9	3	10
5月	53	61	6	17	67	34	35	15	16	21
6月	31	34	7	7	73	56	42	25	28	18
7月	22	40	10	29	111	71	40	19	29	15
8月	26	46	10	29	80	61	56	17	28	29
9月	26	37	4	16	101	55	42	18	28	19
10月	27	24	5	11	110	65	40	33	17	20
11月	23	17	4	9	43	21	24	14	13	12
12月	20	23	2	4	25	20	15	2	0	8
1月	8	15	3	3	10	13	17	3	7	13
2月	17	17	3	7	22	22	11	4	14	10
3月	17	19	4	6	48	16	0	0	20	8
合 計	289	357	60	147	715	462	348	159	203	183

販売実績（ぴゅあめいど）

	(大)みそ	(小)みそ	しょうゆ (大)	しょうゆ (小)	ほたて 佃煮	数の子 佃煮	たらこ 佃煮	佃煮椎茸	佃煮しそ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	2	0	3	0	0	0	0	0
6月	2	2	0	0	0	0	0	0	0
7月	1	1	3	3	4	5	4	0	0
8月	0	2	2	1	8	5	3	0	0
9月	3	3	0	2	7	4	3	0	0
10月	2	2	2	1	6	5	3	0	0
11月	0	1	0	0	2	2	0	0	0
12月	1	1	0	0	0	1	1	0	3
1月	1	1	0	1	5	4	1	3	0
2月	0	1	0	0	4	5	4	0	2
3月	1	3	1	2	4	2	2	0	0
合 計	13	19	8	13	40	33	21	3	5

今年度を振り返って

新型コロナウイルスが少し落ち着いてきたこともあり、佃煮やみその売れ行きが好調だったため、ラベルや値札シールを貼るのが忙しかった。

夏から、ぴゅあめいどまーけっとに佃煮を納品するのを再開してみたところ、道の駅と同じ3種類が人気だった。

利用者様の絵を、釧路市障がい者芸術作品展に出展している。

時計が読めない利用者様にデジタルの時計や絵カードのスケジュール表で視覚支援を行い、帰りの掃除ができるようになった。

改善点、今後の課題

言葉づかい、会話のマナーを伝えていく。

色塗り前に、絵を拡大コピーして、カレンダーに使える絵を増やしていく。

令和4年度 てつなぎ工房 石けん課 事業報告

販売実績（道の駅）

	粉石けん	固形石けん(大)	固形石けん(小)	プリン石けん
4 月	0	14	18	2
5 月	3	4	5	4
6 月	1	12	10	2
7 月	1	7	11	12
8 月	2	3	21	8
9 月	2	12	9	5
10 月	1	16	0	6
11 月	1	9	0	3
12 月	3	1	2	3
1 月	3	2	5	5
2 月	1	9	9	7
3 月	0	0	4	9
合 計	18	89	94	66

販売実績（ぴゅあめいど）

	粉石けん	固形石けん(大)	固形石けん(小)	プリン石けん
4 月	2	15	0	5
5 月	0	7	6	5
6 月	2	13	8	2
7 月	5	20	0	7
8 月	1	8	8	4
9 月	0	4	10	3
10 月	5	12	4	4
11 月	5	14	9	1
12 月	5	2	6	1
1 月	3	10	3	0
2 月	0	11	4	2
3 月	6	0	15	3
合 計	34	116	73	37

販売実績（その他）

	粉石けん	固形石けん(大)	固形石けん(小)	プリン石けん	ハネ品固形石けん
個人	8	74	35	5	61
A コーポ	15	50	50	30	0
合 計	23	124	85	35	61

今年度を振り返って

石けんを購入するために、わざわざ遠方から道の駅に来てくださるお客様が多かったため、納品する数を増やしたことでどの種類の石けんも昨年度より売り上げが伸びている。

欠品中は、お客様にむけてのお知らせをお店や工房に貼っておくことで、大量に購入されるお客様から連絡をいただけるようになり、製造する計画が立てやすくなったと同時に、今までは少ししか購入していなかったお客様にも、人気商品ということを知っていただくことで大量に購入していただくことが増えている。

問題点

- ・一度に大量に製造することができない。
- ・利用者が1名で、現在ぬくもり弁当も利用しているため、削る作業や包装作業に時間がかかる。

改善点、今後の課題

包装資材価格の高騰や、お客様からの要望もあり、包装の簡素化を考えていく必要がある。苛性ソーダやソーダ灰の価格も高騰しているため、価格改定の必要がある。
また、道の駅は毎週在庫管理を行い、納品をしていく。

令和４年度 てつなぎ工房 利用者稼働率表

月	椎茸稼働日	椎茸 利用率	工房稼働日	便利屋 利用率	内職 利用率	石けん稼働日	石けん 利用率
4月	22日	95.4%	20日	88.1%	87.5%	20日	95.0%
5月	23日	73.2%	19日	85.5%	78.9%	19日	100.0%
6月	22日	92.2%	22日	91.4%	93.1%	22日	100.0%
7月	23日	81.6%	20日	90.0%	92.5%	20日	100.0%
8月	23日	89.4%	21日	90.4%	54.7%	21日	100.0%
9月	22日	91.5%	20日	93.1%	57.5%	20日	100.0%
10月	23日	83.8%	20日	91.2%	87.5%	12日	100.0%
11月	22日	90.9%	20日	93.1%	87.5%	12日	91.6%
12月	23日	92.5%	21日	92.2%	88.0%	12日	100.0%
1月	23日	89.4%	17日	94.1%	73.5%	11日	100.0%
2月	20日	93.5%	19日	94.0%	89.4%	12日	100.0%
3月	23日	96.2%	22日	90.9%	86.3%	14日	100.0%

月	工房全体稼働率
4月	91.5%
5月	84.4%
6月	94.2%
7月	91.0%
8月	83.6%
9月	85.5%
10月	90.6%
11月	90.8%
12月	93.2%
1月	89.3%
2月	94.2%
3月	93.4%

GHてつなぎ荘事業 令和4年度事業報告書

令和4年5月16日 作成者 村上陸明

1: 運営状況

* 給付対象事業

指定共同生活援助事業

てつなぎ荘 定員7名 満室 (令和4年3月末日)

てつなぎ抱夢 定員4名 満室(令和4年3月末日)

ほんわかホーム 定員6名 満室(令和4年3月末日)

泉ほ一む 定員2名その後、退去する(令和4年3月末日)

全3施設定員18名 17名利用(令和4年3月現在)

指定短期入所事業(てつなぎ荘にて実施) 定員1名

稼働率 20%

* 給付対象外事業

:生活困窮者一時預かり事業 (定員1名 随時対応)
事前予約にて随時対応

:生活困窮者(有料ショートステイ)事業
支給決定外の方を対象に運営
事前予約にて随時対応
利用料:1日2000円+3食900円

2: サービス体制

* 住居毎の職員配置数及び業務内容

てつなぎ荘 世話人(ほんわか兼務) 3名

てつなぎ抱夢 世話人兼務 (てつなぎ荘配置職員により管理)

ほんわかホーム 世話人 1名 生活支援員 5名(5交代勤務)

:日勤(8時45分～17時30分、生活支援全般)
:早出(6時30分～15時15分、生活支援、受診対応など)
:遅出(10時15分～19時、生活支援全般)

* 食事提供体制 (平日の夕食)・土日＝各自買い物送迎等対応
調理員 2名 交代制にて対応・不在時は当日担当職員にて対応

3: 共通業務

:個別支援計画策定
:生活支援全般(相談対応、助言、残存機能活用援助など)
:施設維持管理
:各種申請(各種手続き代行)
:記録整備管理事務全般
:館内清掃(共有部及び建物外周)
:朝食提供及び土日の朝昼夕食提供
:休日の対応
:利用者の余暇支援(外出行事など)
:利用者の受診・買物支援
:各町内会の行事に参加
:消防訓練、避難訓練

4.問題点と今後の課題

世話人2名高齢者の為、人材が必要、内、1名限界にきている状況。

生活支援員も1名退職の為同じく人材が必要とされる状況。

電気代23%超え上がる為、家賃の見直しも考える必要がある。

* てつなぎ荘への見守りカメラの設置

てつなぎ荘の宿直体制廃止に伴い、共有スペースであるリビングに見守りカメラを設置しました。

ほんわかホームの共有スペースであるリビングに見守りカメラを設置しました。

ほんわかホーム及びてつなぎ本部のパソコンにて確認出来る様になっています。

* 新型肺炎に係る影響について

5類感染症に移行されましたが、今までどうり施設の除菌等行います。

外出、外泊に関して、職員、利用者が予防する事で良いのではと思います。

令和 4 年度

就労継続支援 B 型事業所 めくもり弁当 事業報告(案)

はじめに

令和 4 年度は、前年度に引き続き、目に見えない新型コロナウイルスへの感染対策を取りながらの 1 年であった。日々のマスクと手指消毒は、ごく当たり前のこととなり、大きな声を出さない、三密を避ける、黙食等の振る舞いも抵抗がなくなった。その一方で、普通でないこの制限された生活が、いつまで続くのかと時々考えることも増えた。

このような状況の中、不安やストレスを抱えながらも、利用者と職員が一丸となり、頑張り抜いた 1 年であった。

1. 基本理念

利用者の主体性や意思決定を最大限に尊重し、利用者が抱く“思い”や“望み”が叶えられ、“ここに通って良かった”、“ここにいて楽しい、落ち着く”という満足感・充実感が得られるような関わりや対応に努めた。併せて、その一人ひとりが“働く喜び”、“仲間とのふれあい”、“就労の知識や技能”等が得られ、身につくような支援に努めた。

2. 基本方針

- 1)利用者個々の性格、障がい特性を十分に理解し、個別支援計画に沿った適切なサービスを提供します。
- 2)利用者一人ひとりの人権を尊重し、自立した日常生活、並びに社会生活を営むことができるよう、就労の場、就労の機会を提供します。
- 3)地域や家庭との結びつきを重視し、市町村、他の障がい福祉サービス事業者、その他保険医療サービス、または福祉サービスを提供する機関等との密接な連携に努めます。
- 4)利用者の安心・安全を第一に考え、不安のない適切な支援に努めます。
- 5)地域に根差した“風通しの良い”事業所づくりに努めます。
- 6)各種法令の遵守と健全経営に努めます。

◎上記の基本方針について、「共に生きる」という法人の理念を全職員が周知・理解し、利用者一人ひとりの障がい特性を把握しながら支援にあたるよう努めた。

3.事業内容

1) 弁当製造販売（町内・南弟子屈・磯分内・標茶他）

◎販売実績は、下記の通り。前年度より約 12%アップ(1 日当たり 3.2 食増)。

※令和 4 年度 実績

(食)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個数	627	692	754	717	753	804	658	735	672	594	723	913	8,642

(参考) 令和 3 年度 実績 7,689

2) 委託業務事業（川湯の森病院 清掃作業）

◎週 5 日（土日を除く）、利用者・職員 3 名～4 名で実施。8/2（火）～8/26（金）までの 18 日間、病院内にて新型コロナウイルスのクラスターが発生。一時、清掃作業が休止となる。それ以外は、特に大きな問題等もなく順調に実施することができた。

3) レクリエーション活動の実施

◎日常の作業活動から離れ、リフレッシュと利用者・職員間の交流を目的に実施した。新型コロナの影響により、今年度も屋内活動が中心となったが、利用者の笑顔をたくさん見ることができ、楽しいひと時を過ごした。

- ① 5/21（土）10:00～12:00 ゲーム（ぬくもりダービー、あみだくじ他）、
軽食（ミスタードーナツ）
- ② 8/20（土）10:00～12:00 ゲーム（パニックゲーム、ジジ抜き他）、軽食（わらび餅）
- ③ 11/19（土）10:00～12:00 ゲーム（スネイクゲーム、パニックゲーム他）、軽食（芋団子）
- ④ 1/28（土）10:00～12:00 新年会（ぬくもりすごろく、スネイクゲーム、福笑い他）、
軽食（たこ焼き）
- ⑤ 3/4（土）10:00～12:00 ゲーム（名前ビンゴ、スネイクゲーム、あみだくじ他）、
軽食（カレーパン、フランクフルト）

4) 利用者支援に関する業務全般（更新手続き・個別支援計画の作成等）

◎利用者に対して、不利益が生じないよう遅滞なく支援することができた。

5) 年 2 回の避難防災訓練の実施

◎下記の通り、実施済み。特に問題等はなかった。

実施日	訓練時間	訓練内容	参加人数	避難完了時間	その他
令和 4 年 6 月 28 日	13:30～13:40	火災想定避難 通報消火訓練	6 名 (利用者 4、職員 2)	1 分 53 秒	消防署職員 立ち合い有り
令和 4 年 12 月 1 日	13:25～13:40	地震災害火災 想定避難訓練	8 名 (利用者 5、職員 3)	1 分 10 秒	消防署職員 立ち合い無し

6) 消防設備点検の実施

◎令和4年8月31日、㈱大栄電業により実施済み。指摘事項なし。

尚、弟子屈消防署による立入検査は、令和5年1月11日に実施済み。違反指摘事項なし。

4.営業日及び営業時間

◎営業日は、原則、月曜日から金曜日（但し、祝祭日・お盆・年末年始は除く）として実施。

◎開所時間、及び営業時間は、午前8時00分から午後4時45分で実施。

※₁ 10/21～10/28（6日間）、法人内事業所において新型コロナ感染者が発生。
（在宅ワーク実施）
※₂ 10/4、北朝鮮の弾道ミサイル発射に伴い、利用者安全確保のため休所日。
※₃ 12/23、及び2/2、悪天候のため休所日。（在宅ワーク実施）

※令和4年度 開所日数 実績 (日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	20	20	22	21	22	20	20	21	21	18	19	23	247

(参考) 令和3年度 実績 242日

5.利用定員

20名

※令和4年度 利用者実人数 実績 (人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	8	7	7	7	7	8	9	8	7	8	8	7	11

(参考) 令和3年度 実績 11人

※令和4年度 利用者延べ人数 実績 (人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	148	121	133	126	124	123	135	133	125	125	119	134	1,546

(参考) 令和3年度 実績 1,816人

6.従業者の人数（令和5年3月31日現在）

◎・管理者 1名 ・サービス管理責任者 1名 ・生活支援員 1名 ・職業支援員 1名
・調理員 2名（兼務） 合計4名

(参考) 令和3年度 実績 4名

7.年間売上実績 ※（）内は、目標値

◎弁当製造販売	5,669,260 円（ 5,400,000 円）
◎委託業務事業	2,400,000 円（ 2,400,000 円）
◎目標総計	8,069,260 円（ 7,800,000 円）

※弁当製造販売について、毎月の営業努力や新規顧客数の増等から、前年度売上げより約20%アップとなり、やや盛り返した状況になった。

委託業務事業（川湯の森病院の清掃）については、予定通りの実績を上げた。

8.支援内容

（1）心配事や悩み等を話しやすい・聞きやすい環境の整備。

◎利用者の表情、態度、言動等から少しの変化に気づき、速やかな声掛けや可能な限りの傾聴、話しやすい雰囲気づくりに努めた。

（2）作業への意欲を高める支援を行う。

◎作業を協業することで達成感を共有し、予定を示すことで先の内容（目標）が見えるよう努めた。

（3）みんなが協力しながら作業に取り組めるような雰囲気・環境の整備。

◎一人ひとりの主体性を尊重しながら、協業の中で安心して取り組める雰囲気づくり、安全な環境づくりに努めた。

（4）一人ひとりの障害特性、疾病を理解した上で尊重する。

◎障がいや疾病からその特性を理解し、得意な部分は伸ばし、苦手なところは工夫しながらできるよう“弱みを強みに代える”支援に努めた。

（5）互いに協力し合えるように支援する。

◎利用者同士、一緒に行うことやペアを組み行なうことで、連帯意識や協力することの大切さを感じられるよう努めた。

9.個別支援計画

①アセスメント(課題整理)

◎利用者の思い(目標)を確認し、本人が抱えている課題を整理しながら、潜在的な能力、働く力を最大限に引き出すことのできる支援を行った。

②モニタリング(評価)

◎利用者の“思い”を実現するために個別支援計画が「計画通り実施はされているか、支援内容は適切なのか、問題はないのか。」等を本人、職員、関係者等で確認を行った。

10.避難防災訓練の実施

◎前述の通り、年 2 回の訓練を実施した。今年度は、近年頻発している地震災害を火災と組み合わせたかたちで訓練を実施した。このことにより利用者・職員がより強い防災意識を持ち、またそれに対応する能力を養うことができた。

11.相談・苦情・虐待の窓口

◎利用者が適切なサービスが受けられるよう、利用者のみならず、ご家族等を含めた関係者から相談・苦情・虐待について、迅速かつ適切に対応した。特に、利用者との日々のコミュニケーションを大切にし、“気軽に話せる雰囲気づくり”に努めた。結果として、利用者と職員の距離が縮まり、お互いに笑顔で話しする場面が多く見られるようになった。また、虐待については、職員の内部研修等を通じて意識の啓発に努めた。

12.利用者満足度調査（CS）

◎今年度も、レクリエーション活動（5 回実施、うち 1 回は新年会）の終了後にアンケート調査を実施し満足度をチェックした。その結果、利用者の満足の可否や利用者の意見等が把握ができ、次回以降のレクリエーション活動の改善に繋がった。

13.新規利用者の獲得

◎相談支援事業所等と連携を図り情報収集を行いながら、利用者増を実現するために努力してきたが、新規利用者の獲得には繋がらず、厳しい現実を身に染みて感じた。

14.職員研修

◎下記の通り、職員の資質の向上、スキルアップを目的に事業所全体で取り組んだ。

<事業所内研修>

- ① 障害者虐待の事例考察①（4/28）
- ② 障害者虐待の事例考察②（6/9）
- ③ 厚労省からの“夏の感染拡大防止パッケージ”について（8/10）
- ④ “知的障害”とは（9/13）
- ⑤ “精神障害”とは（10/11）
- ⑥ 障害者虐待の事例考察③（12/20）
- ⑦ てんかん発作について（2/9）

15.コンプライアンス(法令遵守)

◎事業所において、利用者が安全で安心した時間を過ごすことができるよう、関係法令等を順守して福祉サービスの提供に努めた。